



みんなでバケツリレー

もしものときに（4月5日）

比内総合支所周辺と大谷地団地^{おおやち}で、総合防災訓練が行われました。訓練には、地域住民や消防関係者など約250人が参加。8時40分に比内地域を震源とする震度6強の地震が発生し、建物から火が上がって、多数の逃げ遅れが出たとの想定で訓練開始。すぐさま消防車10台が現場に駆け付け、緊迫した中、本番さながらに救助や消火訓練などが行われました。

大谷地団地では住民約110人がバケツリレーに参加し、もしものときに備えて真剣な表情で取り組んでいました。



こんなに集めました

桂城公園で清掃活動（4月7日）

桜まつり前の桂城公園で、東北電力大館営業所と関連企業の社員約30人が参加し、クリーンアップ活動を行いました。

この活動は、環境保全地域への奉仕のため毎年行っているものです。

参加者は、桜まつりの来場者が気持ち良く楽しめるよう、公園脇の地下道や、公園内の芝生に落ちているごみなどを一つずつ丁寧に拾い集めていました。桜の開花を待つ公園では、一足早くボランティアの花を咲かせていました。



元気にお返事出来ました

みんな一緒に入園式（4月8日）

十二所の北部老人福祉総合エリアに成章保育ルーム「森のおうち」がオープンし、開所式と入園式が行われました。

森のおうちには、3月に廃止した葛原保育所・大滝児童館の園児と、新しいお友だちが入園。開所式では利用者を代表して2組の親子も一緒にテープカットし、開所を祝いました。

また入園式では、園児たちが先生に名前を呼ばれると、元気に手を上げてお返事し、先生の歌に合わせてお遊戯を披露すると、保護者からは笑みがこぼれていました。



判定はストライク！

全県審判技術研修会（4月11日）

県野球協会主催の全県審判技術研修会が樹海ドームで行われました。県内18支部から参加した審判員48人が、間もなく始まるゲームに備えて、ストライクゾーンやボールの判定などを確認しました。

参加者は、分かりやすいコールの仕方やタイミング、審判の位置取りなどを真剣に学んでいました。

会場では高校の野球部員が手伝い、公式戦の開幕に向けてムードを盛り上げていました。



オリンピック招致をPR

ハチ公もオリンピック招致に一役（4月13日）

2016年の東京オリンピック・パラリンピック招致を応援しようと、大館駅前の忠犬ハチ公像にたすきが掛けられました。

たすきは、4月9日に東京・JR渋谷駅前のハチ公像に掛けられたたすきと同じもの。「日本だから出来る。新しいオリンピック！」のキャッチフレーズと、ハチ公が主人を待ち続けた優しい心桜の花びらに見立てデザインされています。

催しには、大館商工会議所青年部のポン太君とキリ子ちゃんも参加し、オリンピック招致を応援しました。